不審者等の学校侵入対応マニュアル（岩野小学校）

発生時の即時対応

校内で学校関係者以外の者を発見

【チェック①】
声かけを行い、入校証の有無を確認

正当な理由あり → 事務室へ案内し受付（入校証着用）

なし → 【チェック②】
・退去を求める
・応援を要請

退去した → 監視を継続し再侵入防止

退去しない → 対応レベル①対策本部の設置

不審者の暴力抑止と隔離
子どもの「一次避難」

【チェック③】
不審者の暴力を抑制し、隔離できたか

隔離できた → 隔離したまま警察の到着を待つ

隔離できず → 対応レベル②

不審者の暴力と移動の抑止
子どもの「二次避難」
負傷者への応急手当

【チェック④】
不審者の暴力や移動を抑止できたか

抑止できた → 隔離したまま警察の到着を待つ → 警察による不審者の確保

抑止できず逃走 → 不審者を監視し、再侵入防止 → 対策本部

発見者
①入校証の有無を確認し行動を観察
②必要に応じて近隣教師に応援要請
③挨拶し、丁寧に用件を尋ねて受付に案内
④２m以上の距離を確保し、目を離さない

連携協力

近隣教師
①正当な理由がない場合は、本部に連絡し組織的な対応を開始
②複数の教師で退去を要請
③周囲に子どもがいる場合は、子どもと不審者の間に入り子どもの安全を確保

対策本部

対応レベル①
①校長が緊急対応を指示（その時の状況に応じて職員を各班に割り当てなおす）
　ア　「不審者抑止」班の出動
　イ　「子どもの安全確保」班の出動
　ウ　「救護」班の出動準備
②校内放送（暗号等の活用）
③警察署、教育委員会等への第一報

不審者抑止班
①複数で暴力を抑止しつつ、別室に案内して隔離
②周囲に子どもがいる場合は、子どもと不審者の間に入り子どもの安全を確保
③さすまた等を準備し強く退去を説得

子どもの安全確保班
①校内放送に従い、教室･体育館･運動場等その場で子どもを把握する（出席簿）
②その場で教室等の施錠やバリケードづくり等を行い、子どもの安全を確保

対策本部

対応レベル②
○校長が対応を指示（レベル①に同じ）
　ア　二次避難の開始
　イ　「救護」班の出動
　ウ　必要に応じて救急車の要請と誘導

不審者抑止班
○子どもの避難場所と不審者の間に入り、さすまた等で威嚇しつつ、不審者を子どもから遠ざけて、警察の到着まで時間を稼ぐ（※不審者を追い詰めると危険）

子どもの安全確保班
①子どもを避難場所に避難させ、安全を確保
②正確・迅速な人員点呼及び健康観察（ケガの有無）の実施、救急車への添乗

救護班
○負傷者が出た場合は応急手当実施

不審者抑止班
○可能な限り不審者を監視し、校門や校舎の施錠を行い安全を確保

不審者未確保の場合
①子どもの心身の状態の把握（PTSD等）
②子どもへの概要説明と不審者遭遇時の対応説明
③教育委員会への連絡
④下校手段の確保
　ア　家庭へ連絡し、迎えを要請
　イ　学校安全ボランティアへの協力要請
　ウ　集団登下校（教師の引率、ボランティアの見守り）

事後の対応

対策本部

当日の対応
①被害児童の見舞と保護者への事情説明（管理職対応）
②報道機関等への対応（窓口一本化、正確に状況を把握し時系列に整理、教育委員会等との連携）

学校再開に向けた対応
①子どもの心のケア（専門家・関係機関との連携）
②再発防止策の検討・実施（関係機関等も交えた検討会）